



' To acknowledge the duty that accompanies every right '
 Affiliated with the International Association of Y ' s Men ' s Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2008年7月 No.314
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y ' s THEME (2 0 0 7 ~ 2 0 0 8)

センテニアルクラブ会長：『新たな感動を、再び』
 東京セントラルクラブ会長：『活躍しよう Be Active』
 国際会長：『希望の灯となろう』
 アジア会長：『希望の灯となろう』
 西日本区理事：『思いやりを持ってワイズライフを！』
 中西部部長：『喜びを共にし、苦しみを分かち合おう』

クラブ役員 Officers

会長：大村 肇
 副会長：山中 秀男
 書記：石津 雅人
 会計：中村 幸枝
 ネット会長：山村 利子
 Y連絡職員：鍛冶田 千文

Biblical Message of July

何事にも時があり天の下の出来事にはすべて定められた時がある。

(コヘレトの言葉3章1節)

July Club Meeting

『キックオフ、EMC-C』

7 月 第 1 例 会

日時：2008年7月16日(水) 18:30 ~ 20:30

場所：ホテルグランヴィア大阪

司会：山田 孝彦君

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 開会点鐘 | 三浦 直之 会長 |
| 2. ワイズソング | 一 同 |
| 3. ゲスト紹介 | 三浦 直之 会長 |
| 4. 聖句朗読 | 鍛冶田 千文 君 |
| 5. 今月の強調活動 | 坂本 哲朗 君 |
| 6. 晩 餐 | 一 同 |
| 7. 会長交代式 | 司式 井上 巖 中西部長 |
| 8. 会長挨拶・方針 | 大村 肇 会長 |
| 9. 各委員活動方針発表 | 各 委 員 |
| 10. 山中秀男君の転会報告 | |
| 11. 会計(決算、新年度予算) | 中村 幸枝 君 |
| 12. お誕生祝い・ニコニコ献金 | |
| 13. 閉会点鐘 | 大村 肇 会長 |

7 月 第 2 例 会

日時：2008年7月23日(水) 18:30 ~ 20:30

場所：大阪 Y M C A 土佐堀会館 4 階

7 月お誕生日：坂本メネット(21日)

例会担当：1班：大村、新保、田中、畠中、山田、山中君

「新たな感動を、再び」

大村 肇

クラブに入って日が浅い私が、クラブ会長という重責を担うことができるのか不安な気持ちでいっぱいですが、一生懸命頑張りますのでワイズの皆様のご協力とご指導のほどよろしく申し上げます。

さて、会長標語は、「新たな感動を、再び」としました。センテニアルといえば、「アメラジアン」と言われたように、新たな感動が持てるようなプログラムをしたいと思います。鍛冶田さんが担当しておられる「表コミ」の生徒さんと「センテニアル」の協働で、経験豊かなワイズの話や野外交渉会などを実施したいと考えております。

クラブの課題としては

1. 会員の増強

2. 昨年度黒字転換した財政の維持とさらなる資金獲得、その一環として来年2月ごろ「チャリティ寄席」を土佐堀 YMCA で開催。

3. 例会の充実とハイキングや一泊研修でワイズの親睦、他クラブとの合同例会

08 ~ 09 年理事主題は「思いやりを持ってワイズライフを」です。この一年センテニアルクラブのワイズも新たな感動を持てるようなワイズライフを実現したいと思います。

【クラブ統計 Statistics】

2008年6月	種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント	ニコニコ献金
在籍会員 17名	メ ン	13名	6名	6月： 160g	6月： 22,900円
例会出席 13名	メネット	3名	0名	現金 0円	
うちメーキャップ 0名	ビジター	0名	0名	(07年7月~08年6月の	
	ゲ ス ト	0名	0名	累計)切手 1,805g	(07年7月~08年6月の累計)
出席率 76.5%	合 計	16名	6名	現金 5,500円	215,314円

6月第2例会報告

日時 2008年6月25日(水) 18:30~20:00
場所 土佐堀Y M C A
出席者;石津、大村、鍛治田、山田、山中、三浦君

協議事項及び連絡事項

- (1) 8月第1例会(8/20水)
強調 ユ - アクティビティ -
納涼例会(会場を選定する)
- (2) 表現コミュニケーション学科の生徒と交流
今後、センテニアルの活動として、学生達と触れあう機会を設ける。(鍛治田)
8/6(水) 10:00~11:30(12:00) 土佐堀Y M C Aで
お茶会を行う(メネット) 決定

今後の行事

- 8/8(金) 開場 18:00 [開演 18:30]
関西いのちの電話チャリティコンサート
9/27(土) 中西部会(土佐堀Y M C A)
10/11(土) E M C シンポジウム
(大阪南Y M C A)
11/24(月・祝) チャリティラン(万博公園)
平成21年1/12(月・祝) 合同新年会
(三浦 直之)

7月Y M C A ニュース

早天祈祷会

日時 7月18日(金) 7:30~8:30 * 毎月第三金曜日
証し 中久木康弘氏(とさほり保育園園長)
* 祈祷会の前15分前から聖書輪読会を行っています。

発達障害支援セミナー

7月30日(水) 8月28日(木) 13:30~16:00
「幼児期に大切にしたい関わり方」 西田和子氏
(神戸総合医療専門学校専任教員)
「親子で遊ぶ」 田中枝緒氏(南芦屋浜病院言語相談室主任)・加藤義弘氏(大阪Y M C A サポートクラス常勤講師)
問い合わせ 06(6441)5070
(鍛治田 千文)

6月BFニュース

切手提供者

山田、福永、谷川、三浦君 計 160g
今月の殊勲賞: 山田君 100g

大阪センテニアルクラブホームページ

<http://m-ishizu.com/ys/>

生きにくい、生き難い、と感じた30代後半、この箇所に出会いました。「何事にも時がある」。今はつらいけれども、今はそういう「時」であり、私の人生は神様の計画にある、と知った時、生きることが楽になりました。

聖句選 コメント: 鍛治田千文

6月第1例会報告

日時: 2008年6月18日(水) 18:30~20:30
場所: ホテルグランヴィア21階「蘭の間」

三浦直之会長のもと、今期最後の例会を16人が出席し開催されました。

冒頭、三浦会長から、今期一年は財政赤字問題を会計の藤原正巳さんなどの努力により、無事解決したと感謝を述べた後、代行の松浦さんから、仮決算報告がありました。

次に西日本区大会の参加者からの報告では、九州勢の力を感じた、またエンタテイメントがよかったなど、概ね好評であったことがうかがえました。

今年一年を振り返り、全員が一分間スピーチをしました。山田さんから、当クラブが以前アメリカン事業をして、賞を総なめしたように、これから真剣にCS活動を考えていくことが大切と強調。次期大村肇会長に大きな期待が寄せられました。

最後に三浦会長自ら表彰が行われ、例会はしめくぐられました。財政の問題、ビルの建替えによる例会会場の移転問題、大きな問題を乗り越えてきた三浦会長、ご苦労さまでした。

2007-2008年度最後の例会の三浦直之会長(右)と大村肇次期会長(下)



(中村 茂高)

最近のブラジル事情

資源高騰の追い風乗って、経済が好調な南米の大国ブラジル。この国で日本人のブラジル移住100周年を祝う数々の催しが行われている。現在の日系ブラジル人は推定で150万人。日系移民はブラジルという国家建設に大きく貢献した。「勤勉な日系人」が果たした役割を高く評価する動きが目立つ。先日の同社大学の松下マルタ先生のお話は、アルゼンチンだが、同国で日系人というクリーニング店を思い出すと先生のコメント。勤勉さが求められるクリーニング店という職業を選ぶ人が日系人に多かったのだろう。ブラジルでも事情は同じで、現在のルラ大統領が最初についた仕事は日系人の経営するクリーニング店であったそうだ。現在のブラジル空軍総司令官はサイトウ・ジュン仔大将。総司令官就任の挨拶で「日本人を先祖にもつ者の一人として誇りを感じる」とあいさつ。ブラジル空軍7万人とトップとして空の防衛と空路管制の責任を負っている。彼の母親は「何になっても一番になれ。ごみ拾いになったら最高のごみ拾いなれ」が口癖であったという。

今の私たち日本人に勤勉さの大切さを改めて教えられる気がする。

(谷川 寛)

IBCクラブニュース

IBC・DBC委員長：藤原 正巳

“ Aloha from Hawaii ”

ハワイヌアヌクラブ、プリテンから抜粋

NAOMI AIMOTO さんを新会長に選任

新年度の同クラブ会長に NAOMI AIMOTO さんが選任されました。

ヌアヌクラブ、ハワイ地区最優秀クラブ賞を獲得
本年度のハワイ地区大会で、同クラブはその活動を評価され、“OUTSTANDING CLUB OF THE YEAR FOR 2007-2008”を受賞されました。

“ Bauhinia News ”

香港 Bauhinia クラブニュースより抜粋。

WILMA TOONG さんを新会長に選任

同クラブでは、新年度を迎え新役員が下記の通り決定されました。

会長：WILMA TOONG

副会長：PAULINE NG、MAGGIE MA、
TSUI YEUNG

書記：IRENE LAU

会計：REBECCA HONG



息子の卓也 = 写真(メイ・ヒラナカさんの右横)とハワイ・ヌアヌクラブを訪問。クラブメンバー(モウリス・シモニシ)家で。我々の歓迎会を兼ねた食事会とヌアヌクラブがサポートしている老人の日にホームの人々へのプレゼントを詰める作業を行っているところ。ハワイ島では、何もせず、ただ、マウナケア山に星空を見に行きました。(マウナケアは標高4,205メートル、太平洋の島々で一番の高さを誇る山です。)最高でした。

(坂本 哲朗)

Club Activities for June, 2008

Sixteen members were present to participate in the last meeting of another wonderful year in Y's Dom. Kan Tanikawa presided at the meeting.

Outgoing President, Naoyuki Miura, expressed his deepest appreciation to everyone for their help to make the change of meeting place such a smooth transition; for their participation in club's activities; and especially for their financial support. As he thanked each member for their involvement to make this year in Y's Dom a success, he presented them with a token of his appreciation. Members gave a big hand to President Miura for his excellent leadership to achieve these goals.

Treasurer Sam Fujiwara was also lauded and thanked for his assistance to bolster the finances of the club.

Members who attended the Western Regional Convention in Nara talked about their experiences at the Convention and praised the achievements of the Kyushu Y's Men and Women and the magnificent entertainment at the Convention.



ニコニコ・メッセージ



【 Messages from the Club Members 】

会員からのメッセージ

今期はさほど目立った活動も無く終わった感がありますが次期は今期より沢山の楽しい活動をしていきたいですね。

(石津 雅人)

西日本区大会に出席して今後のワイズライフの参考になった。

(大村 肇)

春から子供たちが働き始めました。朝4人が同時刻に朝食をとるなんて数年ぶりで大変だけど幸せです。

(鍛治田 千文)

本日は一年の反省や西日本区大会の話などクラブの活動を見直すよい機会になったと思います。

(坂本 千春)

久しぶりにやってきました。少しでも出席したいです。

(新保 正秋)

三浦会長をはじめ本年度の役員の方々のお働きに感謝します。ご苦労さまでした。

(田中 穰二)

三浦会長、一年間ご苦労様でした。センテニアルは西日本区大会での表彰はありませんでしたがクラブは大変結束した一年でした。

(谷川 寛)

来年度もセンテニアルらしく楽しく、充実した活動になりますように。

(中村 幸枝)

会場が替わって初めての例会出席です。財政の建て直し会場の問題と無事に軟着陸した一年でした。

(中村 茂高)

体力保持に勤めていますが腰の曲がりは次第にひどくなっているようで案じられます。歩くことだけは相変わらず頑張っています。メネット欠席失礼しています。

(福永 嘉彦)

西日本区大会の感想で、山田さんが指摘された「わがクラブはめばしいことを何もやっていない」は、まさにその通りです。新しい期、新しいプログラムにチャレンジしたいですね。

(松浦 孝次)

一年の締めくくりで西日本区大会(奈良)に行ってきました。良く準備された内容で楽しむことが出来ました。日曜日の早朝、春日大社までウォーキングしました。さわやかな気分体中満たされた感じです。

(三浦 直之)

西日本区大会に出て改めてわがセンテニアルの立て直しの必要性を痛感しました。このショックを再興のバネにして次なる一年にチャレンジしようと思、考えています。

(山田 孝彦)

”明日は明日の風が吹く”、”風と共に去りぬ” 女主人公が最後につぶやく” Tomorrow is another day ”を思い出しました。

(山中 秀男)

一年間メンのみなさんいろいろご苦労様でした。来年度もメネットたちを引っ張ってください。

(山村 利子)



第11回西日本区大会に参加して

とき：2008年6月13日(金)～6月15日(日)
ところ：なら100年会館と ホテル日航奈良

「まほら大和に集うワイズの力」を旗印に、東日本区からのゲストもあわせ約850人が奈良の会場に集合。今年も、ワイズの力強さを感じましたね。一般のワイズメン、メネットは、14日昼前のメネットアワーあたりからの参加です。

午後、大会第1部が、斬新な設計の新しい100年会館大ホールで開会。大阪産業大学・吹奏楽部の演奏や、天理大学雅楽部の雅楽・舞楽もあり、映像を使って新しい会場の舞台効果を十分に発揮した、奈良らしからぬ(失礼)スマートでメリハリのきいた演出でした。

14日夜の懇親会は、ホテル日航奈良で。奈良には大きな会場がなく、850人がホテル内の3会場に分かれて宴会。中西部は主会場で。会場大いに盛り上がり、交流の実は十分にあげました。15日朝の聖日礼拝、献金20万円は奈良YMCAの「発達障害の子どもたちを支援するプログラム」に捧げられました。

15日午前の表彰式。残念ながら当クラブは授賞がなく、クラブの社会奉仕事業、そして情報発信が必要だと痛感しました。これからみんなで取り組もうではありませんか。また熊本部で46人の会員増の情報に驚き、秘訣の一端を聞きたいものです。

クラブからの出席者は、三浦会長、大村・坂本・谷川・山田・松浦メン、坂本・山村・松浦メネット。来年の会場は熊本です。ぜひみんなで行きましょう！！

(松浦 孝次)

後記

先日の会議での話。私の隣にいた、同僚が、「何々のシュミレーションがどうのこうの」と言ったとき、すかさず向かいにいた若い男性が「それはシミュレーションの間違いでしょ」と指摘。それを聞いてはっと。実は私も「シュミレーション」だと思っていたからです。「どこかで表記の仕方が変わったのだろうか」と思いながら帰って調べてみたら、「シミュレーション」(simulation)は、誤字の中でも堂々たるトップクラス。分類としては、読み違いなので「外誤科(がいごか)」のように思いますが、「ユ」「ミ」が入れ替わっているので「替誤科(かえごか)」になるそうです。そんな分類があるのも初めて知りました。

多い理由は登場頻度によるようで、そのほかにも「シュミュレーション」や「シミレーション」「シムレーション」、「スミレーション」など、その人が発音しやすいように変化するそうです。「趣味(しゅみ)」の言葉の存在も原因の一つかも知れません。

そのほかにも、「レクリエーション」が「レクレーション」に、「コミュニケーション」が「コミニケーション」などなど。どうも、日本人が外来語を習得するのに、的を得た(射た)完璧(壁)な発音は、なかなかむずかしいようです。

中村 茂高